

# チャペル週報

No.23

2014.11.24 ~ 11.28

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。  
どんなことにも感謝しなさい。  
これこそ、キリスト・イエスにおいて、  
神があなたがたに望んでおられることです。

(テサロニケの信徒への手紙5章16~18節)



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 11月24日(月) 神 上ヶ原ハビタット  
経 舟 木 謙 (宗教主事)  
人 有 田 憲一郎 (脳性麻痺を生きる伝え人)  
聖 聖書物語 ベタニヤの姉妹・貧しい人のささげもの  
和 村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)  
理
- 
- 11月25日(火) 神 ゴスペルクワイアによる音楽礼拝  
文 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
社 チャペル・コンサート ハーモニカ・ソサイアティ  
法 音楽賛美シリーズ2 バロックアンサンブル  
経 「人間を考える⑤」大 高 博 美 (経済学部教授)  
商 学生ボランティア報告 ハビタット  
国 クリスマスにそなえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)  
聖 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
和 今 西 祐 介 (総合政策学部助教)  
理
- 
- 11月26日(水) 神 献血実行委員会によるチャペル  
社 「友だち」について⑤ 山 泰 幸 (人間福祉学部教授)  
法 オルガンミニコンサート 広瀬 あや(文D3)、佐藤 留緒記(神4)、本多 巧(文D1)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
商 徳 田 真 二 (学生活動支援機構総合支援センター課長)  
人 ヒューマンサービスセンター「共働プラットホーム」  
国 献血週間をおぼえて 献血実行委員会  
聖 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
和 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)  
理 村 瀬 義 史 (宗教主事)  
総
- 
- 11月27日(木) 神 <キリスト教音楽に触れよう③> 水 野 隆 一 (神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 「友だち」について⑥ 鳥 羽 美 鈴 (社会学部准教授)  
法 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.  
経 音楽チャペル バロックアンサンブル  
商 阿 部 洋 夫 (商学部事務長)  
国 Christian M. Hermansen (法学部教授・宣教師)  
聖 希望からはじめる 林 昌 利 (日本基督教団芦屋山手教会牧師)  
和 学生会 宗教総部  
理
- 
- 11月28日(金) 院 Ruth M. Grubel (院長)  
神 高 橋 博 厚 (神学研究科D3)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 インクルーシブな社会を目指して 舟 木 謙 (宗教主事)  
人 クランツ作り  
聖 亡くなった方を覚えて 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)  
和 前 川 裕 (宗教主事)  
理
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
11月28日(金) アドベント(11/30)を迎えるにあたって 加納 和寛(神学部助教)

---

# 収穫感謝日 — 感謝から分かち合いへ —

福 万 広 信

アメリカでは、11月第4木曜日を感謝祭(Thanksgiving Day)として祝日と定められており、日本の多くのプロテスタント教会も、この日に近い11月第4日曜日を「収穫感謝日」として礼拝を守っています。

17世紀初頭、清教徒たち(ピルグリムファーザーズ)は、信仰の自由を求めてイギリスを出発しました。航海の末にたどり着いたアメリカ大陸で、彼らは最初の冬を迎えることになります。厳しい寒さの中、彼らは飢えと渇きのために衰弱し、半数が亡くなったといえます。そのような中、彼らは先住民たちに支えられ、土地を耕し、作物を育て、秋には多くの収穫物を得ることができました。彼らは自分たちを助けてくれた先住民たちを招待し、神の恵みに感謝する集いをしたのが感謝祭の由来とされています。

この由来については、史実性を疑問視する声もあり、すべてが事実かどうかは分かりません。しかし、その後、移民たちがたどるのは、先住民の土地を奪い、迫害するという歴史なのです。この略奪と迫害の歴史を通して、私たちは人間の罪深さ、弱さの現実を思い知らされます。

彼らの新天地での生活は、私たちの想像をはるかに超える苦難の連続だったでしょう。しかし、だからこそ気づくことのできた恵みもあったはずです。先住民たちの優しさ、仲間たちの愛情、自分を生かしてくださる神の恵みに多くの人々が素直に感謝することができたのではないのでしょうか。

しかし、その気持ちは次第に薄れ、感謝祭の目的も自分を支えてくれた神や人々への感謝ではなく、自分たちが豊かになっていくことへの感謝へと変わっていききました。人々は自分たちだけを中心とする考え方、生き方へと変わっていったのです。

このことは、私たちにも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。振りかえれば、私たちには感謝すべきことがたくさんあります。しかしそのことに感謝することを忘れ、不満ばかりを口にしてしまう私たちです。また多くのことに恵まれているにも関わらず、「もっと、もっと」とさらに多くのものを手に入れたいと考えてしまうのです。

「収穫感謝日」の季節、私たちは改めて与えられている恵みの大きさに気づき、素直に感謝する心を取り戻すことが必要なのではないのでしょうか。そして、自分に与えられた恵みを、今必要としている人々と、どのように分かち合うことができるのか、そのことに心を向けて生きていくことが求められているのではないのでしょうか。

(初等部宗教主事)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50~18:20 1405 教室)

11月主題「『祈り』について」

11月27日(木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

●リトリートat千刈 ~テゼ共同体のブラザーを迎えて~

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き: 11月29日(土)~30日(日)

と ころ: 関西学院千刈キャンプ

主 催: 関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ: 宗教センター(吉岡記念館事務室)

●第198回ランパス演奏会

「シェイクスピアの音楽とイギリスのキャロル」

平井満美子/ソプラノ 佐野健二/リュート、オルファリオン

と き: 12月4日(木) 17:00 開演 (16:30 開場)

と ころ: ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。ランパス演奏会には1998年から毎年イースターとクリスマスシーズンに出演しています。

●夕べの祈りatランパス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。どなたでもご参加ください。

第3回 1月8日(木) 18:30~20:00

と ころ: ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時: 12月22日(月) 17:30 開場 18:30 開始

参加費: 2000円 当日座席指定(16:30より)

チケット販売: 関西学院大学生協/チケットぴあ/ザ・シンフォニーチケットセンター  
/サークルKサンクス/ファミリーマート